



# 放課後総合サービス業 モデルケース創出プロジェクト

株式会社システムソフト

作成日：2022年2月28日

# 目次

1. 背景・目的
2. 検証概要
3. 検証結果の報告
  - ① メイキングストーリー
  - ② そこからの学び・示唆
4. 今後に向けて

# 目次

1. 背景・目的
2. 検証概要
3. 検証結果の報告
  - ① メイキングストーリー
  - ② そこからの学び・示唆
4. 今後に向けて

## 抱える課題

### 教員の働き方改革

- 顧問を務める教員に過度の負担がかかっている
- 中学校教員の約6割が部活動の指導を負担と思っている
- 顧問を務める教員は、中学校では9割近く毎週休日出勤をしている

### 指導者の人材・指導力不足

- 資格取得を希望する若年層は増えず指導者の高齢化が進行
- 教員の異動等による指導者不足解消や指導の継続性の確保

### 地域の活性化

- 地域施設の有効活用による、地域の子どもたちへのスポーツを活用した健全育成
- アスリートのセカンドキャリア支援

# 目次

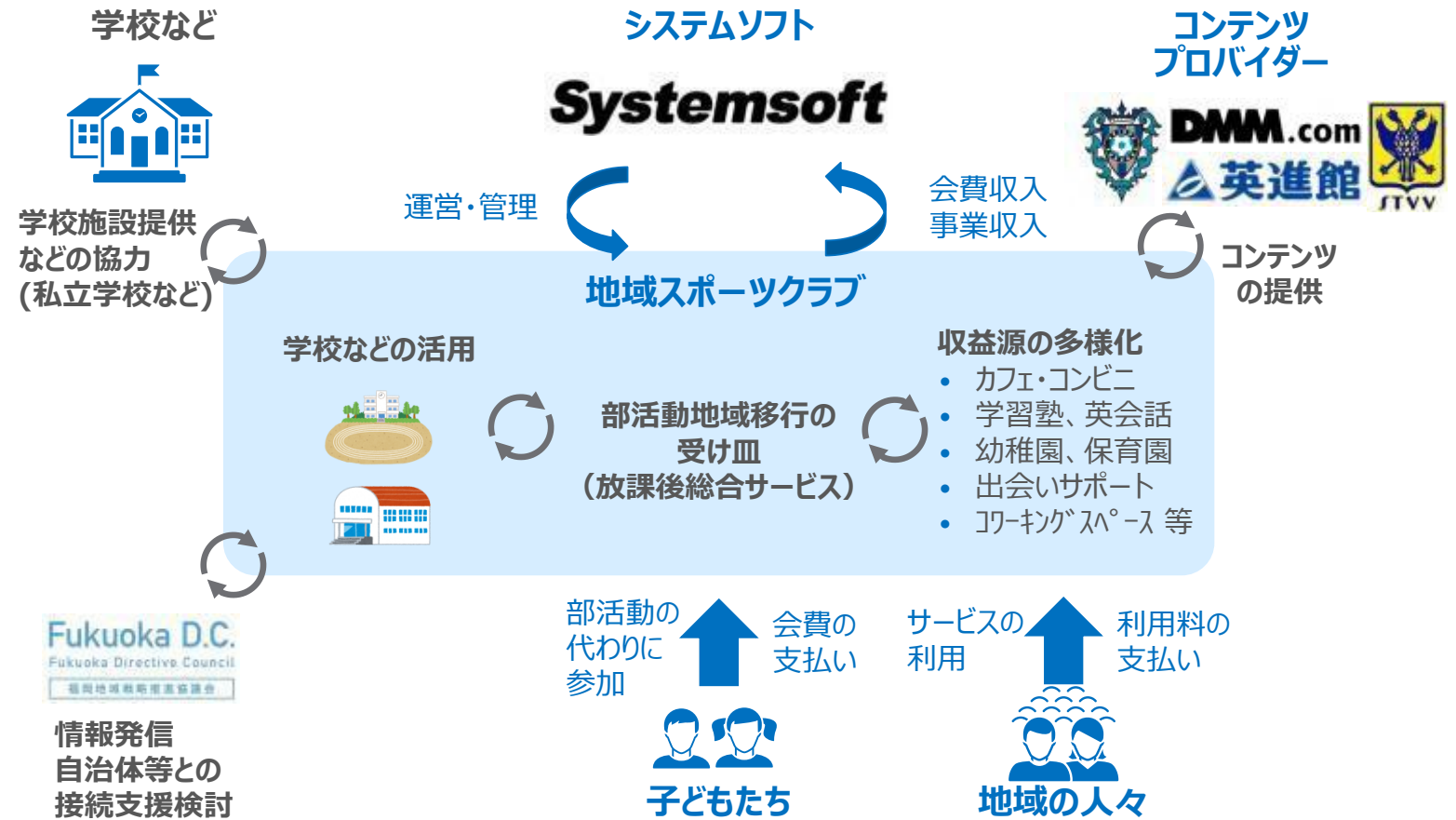
1. 背景・目的
2. 検証概要
3. 検証結果の報告
  - ① メイキングストーリー
  - ② そこからの学び・示唆
4. 今後に向けて

# 検証概要と目指す姿

## 事業概要

類型	A類型 (一般法人×オープン)
事業者	システムソフト
他連携先	APAMAN アビスパ福岡 DMM.com 英進館 福岡地域戦略推進協議会 (FDC) シント＝トロイデンVV
実証自治体/ 学校	福岡市内の学校など
概要	プロスポーツクラブや民間企業など 様々な主体が協力し、“学校施設” や“外部施設”を使って、スポーツ クラブ＝総合型放課後サービス業の 設立を検討

## 目指す姿

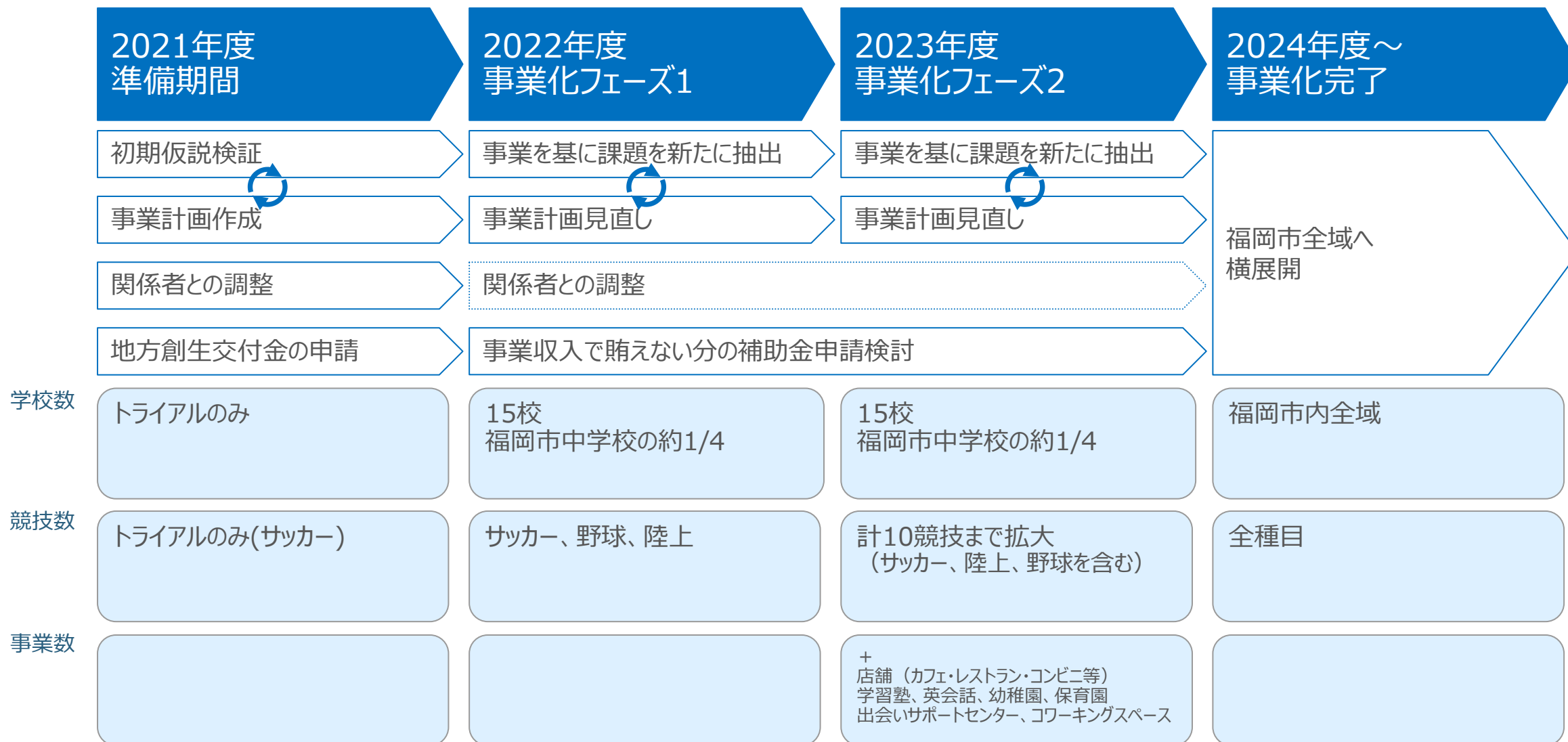


# 検証ポイント

ポイント	概要	実証有無
① 収益の確保	1 会費収入 アビスパ福岡と連携し、対象中学サッカー部に対するトライアル指導を行い、受益者満足度・負担受容度の検証、実現にあたっての課題抽出等を実施	✓
	2 事業収入 学校施設を活用した総合放課後サービス業(学習塾、有料駐車場、物販、飲食等を想定)の事業計画を策定。収入規模試算、実現にあたっての課題抽出等も実施	協議会*での検討まで
	3 自治体からの支援 福岡市との協議の中で、将来的な本事業における市の負担余地を検証。並行して、足元の運転資金として地方創生交付金の申請にもトライ予定	協議会*での検討まで
② 効果的・効率的な運営	4 指導者の質・量の確保 在福のプロスポーツクラブ、アスリートOB、各種競技連盟等との意見交換を通じ、質が高く、多様な競技に対応できる指導者提供スキームの検討を実施。サッカーについては実証も実施	✓
	5 活動場所の確保 サッカーのトライアル指導を、実際に学校施設を使って行い、利用者満足度の検証、実現にあたっての課題抽出等を実施	✓
③ 学校部活動との関係整理	6 教員の兼業・副業 福岡市教育委員会との協議の中で、設立予定のスポーツクラブにおける教員の兼業・副業スキームの検討、実現にあたっての課題抽出等を実施	協議会*での検討まで
④ 放課後総合サービス検討	7 学校施設の活用 DMM・英進館等と連携した総合サービス(学習塾、カフェ等)の展開計画を策定。展開事業のニーズ調査、収入規模試算、実現にあたっての課題抽出等も実施	協議会*での検討まで

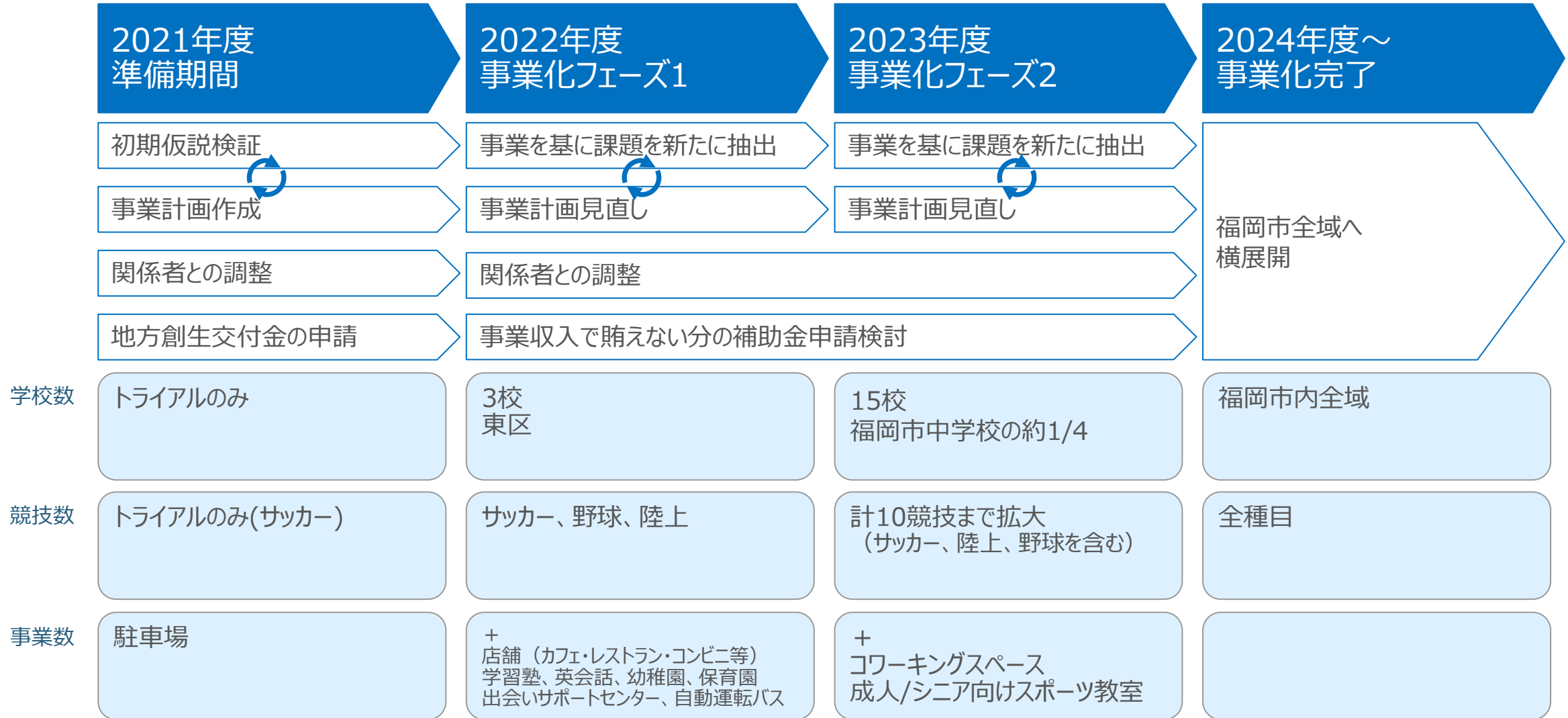
上記は学校施設を想定。外部施設についても検証ポイントは同様だが、施設特性によって検証結果は異なる可能性がある

## 提案時の事業計画（学校版）





## 提案時の事業計画（外部会場版）



# 目次

1. 背景・目的
2. 検証概要
3. 検証結果の報告
  - ① メイキングストーリー
  - ② そこからの学び・示唆
4. 今後に向けて

## 主な検証の歩み

カテゴリ	年月日	議論相手	概要
	2021/4/14	事業者内	提言について説明、目指す姿の話し合い
市との調整	2021/7/12	福岡市市民局	提言について説明、意見交換
			<b>提案・採択</b>
市との調整	2021/9/7	事業者内	福岡PJメンバーMTG：福岡市及び福岡市教育委員会との協議について
	2021/9/14	福岡市市民局	福岡PJメンバーによる福岡市市民局 訪問
協議会	2021/9/28	協議会	第1回放課後総合サービス業モデルケース創出プロジェクト協議会
市との調整	2021/10/5	福岡市市民局	福岡PJメンバーによる福岡市教育委員会への訪問調整依頼
	2021/10/6	福岡市教育委員会	経済産業省による教育長への訪問調整
協議会	2021/10/26	協議会	第2回放課後総合サービス業モデルケース創出プロジェクト協議会
市との調整	2021/10/28	福岡市教育委員会	経済産業省による福岡市教育委員会教育長訪問 ：FSにて取り組みたい内容について説明と意見交換
トライアル	2021/11/3	福岡市立田隈中学校	指導トライアル実施：アスリートOB（サッカー）参加
	2021/11/15	福岡市教育委員会	FS内容の共有、外部指導員について調査
協議会	2021/11/24	協議会	第3回放課後総合サービス業モデルケース創出プロジェクト協議会
トライアル	2021/11/25	福岡市立下山門中学校	指導トライアル実施：アスリートOB（サッカー）参加
	2021/11/30	福岡市教育委員会	事務局による福岡市教育委員会への訪問：協議会内容の共有、施設について調査
協議会	2021/12/9	分科会	第1回事業化分科会
協議会	2021/12/17	協議会	第4回放課後総合サービス業モデルケース創出プロジェクト協議会
	2021/12/23	福岡市教育委員会	事務局による福岡市教育委員会への訪問 ：福岡市内小学校校庭でのスクール開校について説明と協力依頼
トライアル	2021/12/23	福岡市立東光中学校	指導トライアル実施：アスリートOB（サッカー）参加

## 主な検証の歩み

カテゴリ	年月日	議論相手	概要
	2021/12/28	福岡市教育委員会	福岡市教育委員会への団体登録申請
リサーチ	2022/1/4	福岡市内Jrチーム代表	福岡市内小学校校庭を利用したスクール活動についてMTG
	2022/1/17	百道浜小学校	福岡PJメンバーによる校長訪問：近隣公園での活動について
	2022/1/17	花畑小学校	福岡PJメンバーによる校長訪問：同小学校校庭での活動について
	2022/1/17	有住小学校	事務局による校長訪問：同小学校保育園現地調査 ※福岡市教育委員会担当者同行
	2022/1/20	福岡市中学体育連盟	事務局による中体連顧問（東光中学校 校長）訪問：部活動地域移行の可能性について
	2022/1/20	福岡地区Jr委員会	事務局による地区長訪問：Jrチームの現状について調査
協議会	2022/1/28	協議会	第5回放課後総合サービス業モデルケース創出プロジェクト協議会
リサーチ	2022/2/2	福岡市教育委員会	事務局によるヒアリング：学校施設の手引き運用について調査
	2022/2/3	長丘中学校	PJメンバー、事務局による長丘中学校 校長訪問：部活動地域移行の可能性について
	2022/2/4	城西中学校	PJメンバー、事務局による城西中学校 校長とのMTG：校庭の利用について
	2022/2/7	福岡市内私立中学校	事務局によるヒアリング：サッカー部の活動人数等について調査
	2022/2/7	田隈中学校	PJメンバー、事務局による田隈中学校 校長とのMTG：部活動地域移行の可能性について
	2022/2/9	下山門中学校	PJメンバー、事務局による下山門中学校 校長訪問：部活動地域移行の可能性について

## 目指す姿の設定に当たっての議論

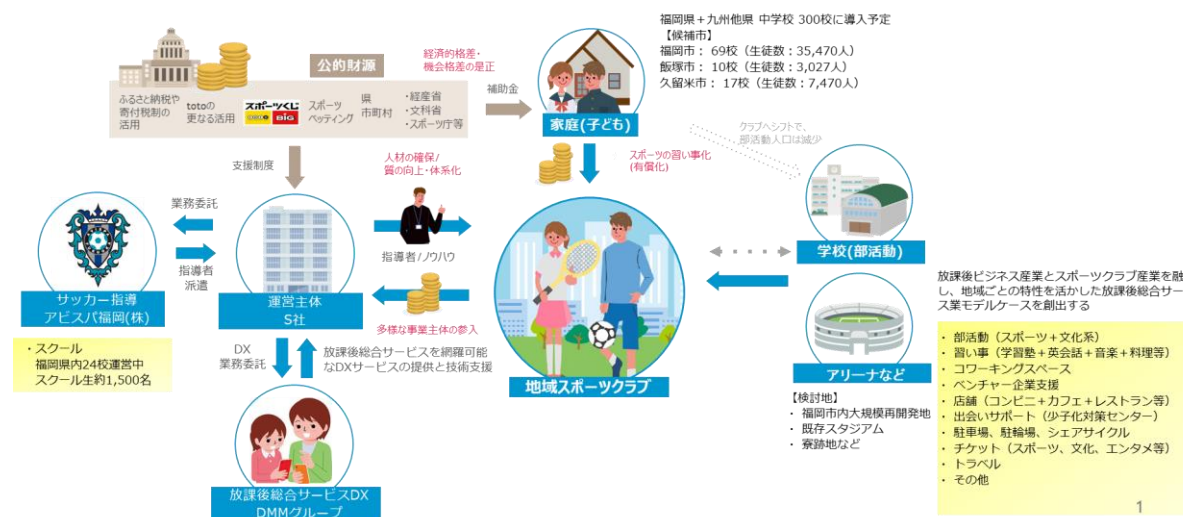
### 概要

- 年月日
  - 2021年4月14日
- 参加者
  - STVV
  - DMM
  - アビスパ
  - システムソフト
- 議論内容
  - 福岡PJとして  
目指す姿について協議

### 議論内容詳細

- ① 経済産業省『地域×スポーツクラブ産業研究会』第1次提言について説明  
STVV（ベルギー）ではクラブ・スタジアムを中心に街の産業が活性化している  
部活動の民営化にあわせて学校施設を有効活用して『道の駅』のような施設を作りたい  
（放課後総合サービス業モデルケースの創出）
- ② 福岡PJとしてはシステムソフト社を中心にプロジェクトを進める方向で方針確認

### 放課後総合サービス業モデルケース創出プロジェクト 【福岡】



### 3.① メイキングストーリー

協議会

## 地域スポーツクラブ産業 放課後総合サービス業 協議会

### 地域スポーツクラブ産業 放課後サービス業協議会実施状況

	日時	主な議事
第1回	2021年9月28日 17:00～18:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済産業省『地域×スポーツクラブ産業研究会』第1次提言について /経済産業省</li> <li>・シント＝トロイデンVVにおける事例紹介 /プロスポーツ団体</li> <li>・アビスパ福岡の取り組みについて /プロスポーツ団体</li> <li>・事業概要について /事務局</li> </ul>
第2回	2021年10月26日 17:00～18:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習塾から見た 部活動の実態について /学習塾</li> <li>・本事業について /事務局</li> </ul>
第3回	2021年11月24日 17:00～18:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本協議会の目指すゴールについて /事務局</li> <li>・福岡市教育委員会における部活動改革への取り組み紹介 /自治体</li> <li>・放課後総合サービス業 事業化についてのご提案 /事業者 /大規模災害時の避難誘導・拠点化事業（仮）検討について</li> </ul>
第4回	2021年12月17日 17:00～18:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業における検証について中間報告 /事務局</li> <li>・放課後総合サービス業 事業化についてのご提案 /事業者 /オープンイノベーション ビジネスコミュニティ共創支援について</li> </ul>
第5回	2022年1月28日 16:00～17:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの検証について /事務局</li> <li>・「運動部活動の地域移行に関する検討会議」での検討状況について /スポーツ庁</li> <li>・福岡市内における部活動の地域移行の各論点議論 /事務局</li> </ul>

## 第1回協議会

### 概要

- 年月日
  - 2021年9月28日
- 参加者
  - プロスポーツ団体
  - 学習塾
  - 産学官民連携機構
  - 自治体
  - 融資機関
  - 経済産業省
  - 事業者
  - 事務局
- アジェンダ
  - 自己紹介
  - 経済産業省『地域×スポーツクラブ産業研究会』第1次提言について
  - シント＝トロイデンVVにおける事例紹介
  - アビスパ福岡の取り組みについて
  - 事業概要について
  - 意見交換
  - 次回協議会について

### 議論内容詳細

#### 【主な議論内容】

- 現在の生徒の生活形態（部活終了後遅い時間に通塾）や先生の働き方を見るにつけ、この目指す姿の社会実装は必須。
- 実現のためには「本質的に何が一番大切か」に立ち戻りながら議論を進めること。議論を進めるにあたってはハードルとなる事象についてゲストスピーカーを呼んだり、スポーツ庁にも声をかけたりしてもいいのではないか。
- この事業はスコープが広い。イメージを持たせ、教育委員会等との議論材料とするためにも、今回は具体的なサービス・オペレーション像を提示し、それを元に議論を進める。

#### 【印象的なコメント】

- 海外事例を含め今までの自分たちの概念を覆すようなものであった。学校施設をどのように開放していくか、教員の働き方をどうするか、というところをうまく検討しながら、ビジネス化をどのように結び付けていくかが課題になると考えている。そういった中でどういった解決策があるのか、どういった策が現実的なのかを検討いただきたい。
- 教育委員会においてはかなり多くの課題を抱えながら教員の負担軽減を進めている。
- 今まで情熱をかけてくださった先生方の機会を一方向的に奪うことはしないように、一方で、部活動を苦と感じられている方への救済を行うような事業を行いたい。

## 第2回協議会

### 概要

- 年月日
  - 2021年10月26日
- 参加者
  - プロスポーツ団体
  - 学習塾
  - 産学官民連携機構
  - 自治体
  - 融資機関
  - 経済産業省
  - 事業者
  - 事務局
- アジェンダ
  - 学習塾から見た 部活動の実態について
  - 本事業について
  - 意見交換
  - 次回協議会について

### 議論内容詳細

#### 【主な議論内容】

- 学校との関係調整
  - 部活動が学校から切り離された場合、ほとんどの子どもが参加という大前提が変わる可能性もあり、この事業においては、教育委員会・学校側の意見は不可欠。
- 効率的・効果的な運営
  - 学校の活用には、個人情報保護、公平な企業の選定等、条例以外の問題もあるため、協議会で具体を検討したい。
- 収益の確保
  - 自治体からの支援前提では、持続可能性は担保できない。自治体とのかかわり方は、施設の指定管理、業務委託等を含んだ多くのパターンでの検証を行ってほしい。
  - この事業では受益者負担以外の収入源を模索可能。部活動事業以外の収入源、また、協力企業等へのメリットを含め検討し、プロジェクト全体の事業採算も見てほしい。

#### 【印象的なコメント】

- 活動時間を考える際に、学校体育館を利用するとなると、体育館の使い方次第で前半/後半に分けて使用することになり、細切れの活用となる。再設計するにあたり、体育館を使えない時間帯で、裏で勉強ができるなど、部活動→塾という流れでの設計も可能なのではないかと？
- 収益の回し方について、持続可能性を考えると、自治体からの支援を前提にすると難しい部分もある。正当な対価を受け取って続けていくということも重要なのではないかと？



## 学校施設内で学習塾を運営できた場合、子どもたちの生活バランスが向上の可能性

○協議委員からの提案

夏時間\_\_現行



夏時間\_\_構想



**もし、実現できれば・・・**

16時……授業が終わり、そのまま部活スタート。

18時……プロによる効率的な運営で、**1時間早く部活が終了。**

18時半……学校内で塾の授業を実施。  
移動時間が不要なので、**軽食や休憩可。**

20時半……**1時間半早く塾の授業が終了。**

21時……帰宅。  
食事、風呂、**家族の団らん、趣味。**

22時半……学校の宿題、明日の準備。

24時……**余裕をもって就寝。**

**※従来より1.5時間早く帰宅、途中0.5時間の休憩。計2時間の余裕。**

## 学校施設内で学習塾を運営できた場合、子どもたちの生活が変わる可能性について

○1週間のスケジュール

### 中学生A君の場合



月曜日	塾		塾
火曜日	休み		休み
水曜日	塾		塾
木曜日	休み	➡	休み
金曜日	塾		塾
土曜日	塾		休み
日曜日	休み		休み

・塾への移動時間を無理なく学習時間に充てることで週末に塾のない自由な時間ができる

### 中学生B君（部活生）の場合



月曜日	部活&塾		部活&塾
火曜日	部活		部活&塾
水曜日	塾		休み
木曜日	部活&塾	➡	部活&塾
金曜日	部活		部活&塾
土曜日	部活		部活
日曜日	塾		休み

・平日や週末に部活動、塾のない自由な時間ができる  
 ※週末1日、平日1日が部活動は活動できない日に設定されている

## 第3回協議会

### 概要

- 年月日
  - 2021年11月24日
- 参加者
  - プロスポーツ団体
  - 学習塾
  - 産学官民連携機構
  - 自治体
  - 融資機関
  - 経済産業省
  - 事業者
  - 事務局
- アジェンダ
  - 本協議会の目指すゴールについて
  - 福岡市教育委員会における部活動改革への取り組み紹介
  - 大規模災害時の避難誘導・拠点化事業（仮）検討について
  - 次回協議会について

### 議論内容詳細

#### 【主な議論内容】

- 部活動支援員、部活動指導員の区別なく、外部指導者が単独での引率等ができるような制度設計が必要。
- 今後すべての競技をカバーすることができるか、人材の確保が課題。
- 受益者負担だけに頼る活動ではなく、事業化（大規模災害時の避難誘導・拠点化事業等）もテーマにしていきたい。

#### 【印象的なコメント】

- 現時点では指導者派遣に関して企業への依頼はないが、今後人材確保の部分で困難になっていった場合には企業への依頼も想定される。
- 外部指導員を受け入れる際の学校側の責任範囲は教員が指導する際と変わらない。
- 段階的な地域移行を進める際、民間のスポーツ団体が地域移行の受け皿になった場合は会場と責任問題も解決すべき課題となる。
- 外部指導員が増えていくことを想定した場合に出てくる課題を解決していきたい。
- 学校を中心として地域の社会課題を克服していくグループに企業にも参加してもらいたい。

## 第4回協議会

### 概要

- 年月日
  - 2021年12月17日
- 参加者
  - プロスポーツ団体
  - 学習塾
  - 産学官民連携機構
  - 自治体
  - 融資機関
  - 経済産業省
  - 事業者
  - 事務局
- アジェンダ
  - 本事業における検証について中間報告
  - オープンイノベーション ビジネスコミュニティ共創支援について
  - 次回協議会について

### 議論内容詳細

#### 【主な議論内容】

- 学校の中で保育事業をしているところがあり、塾にも展開の可能性もある。また、私立では学校教室を塾に開放している。プライバシーの点では公立・私立は関係がなく、私立利用の上でのトラブルは生じていない。同様に、公立でもプライバシーの点は問題にならないのではないか？
- 福岡市では条例改正等を行わずとも学校開放が可能であることが分かった。調査のみならず、学校施設を借りて実際に事業を進めてみることで、足りない部分がビビットにわかるのではないか
- 部活動の地域移行の検討は文部科学省・経済産業省が同じ方向を向いて進めている。この協議会にスポーツ庁を呼ぶアレンジを行うことを別途相談。

#### 【印象的なコメント】

- スポーツよりハードルが高い学校施設を使えるかどうか、ハードルが高いように思えた。しかし、私立の学校であれば、塾の模擬試験をその会場で行うことが恒例。プライバシーの問題については公立・私立は関係がないので、公立でも同じことが言えるのではないか？
- 営利目的での使用が認められていない学校の開放事業において、既に月謝を徴収している事業が実施されているという点で、活路が見えたと思う。

# 第5回協議会

## 概要

- 年月日
  - 2022年1月28日
- 参加者
  - プロスポーツ団体
  - 学習塾
  - 産学官民連携機構
  - 自治体
  - 融資機関
  - 経済産業省
  - スポーツ庁
  - 事業者
  - 事務局
- アジェンダ
  - これまでの検証について
  - 「運動部活動の地域移行に関する検討会議」での検討状況について
  - 福岡市内における部活動の地域移行の各論点議論

## 議論内容詳細

### 【主な議論内容】

- スポーツ庁としては最後の部活動改革のチャンスだと捉え改革を進めている。

#### 運動部活動改革のこれまでの経緯・取組について

- ✓ 「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」（平成30年3月）抜粋
 

生徒のスポーツ環境の充実の観点から、学校や地域の実態に応じて、スポーツ団体、保護者、民間事業者等の協力の下、**学校と地域が緊密・融合した形で地域におけるスポーツ環境整備を進める。**
- ✓ 「新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について」（中教審答申・平成31年1月）抜粋
 

地方公共団体や教育委員会が、学校や地域住民と連携共有を図りつつ、地域で部活動に代わり得る高い活動の機会を確保できる十分な体制を整える取組を進め、環境を整えた上で、**将来的には、部活動を学校単位から地域単位の取組にし、学校以外が担うことも積極的に進めるべきである。**
- ✓ 公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法の一部を改正する法律案に対する付帯決議（衆・令和元年11月、参・12月）抜粋
 

政府は、教育職員の負担軽減を実現する観点から、**部活動を学校単位から地域単位の取組とし、学校以外の主体が担うことについて検討を行い、早急に実現すること。**
- ✓ 「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について」（令和2年9月）抜粋
 

休日の部活動における生徒の指導や大会の引継ぎについては、学校の職務として教師が担うのではなく地域の活動として地域人材が担うこととし、**地域部活動を推進するための実証研究を実施する。その成果を基に、令和5年度以降、休日の部活動の段階的な地域移行を進めるとともに、休日の部活動の指導を担えない教師が休日の部活動に従事しないこととする。**

→

- 今年度より、予算事業として「**地域運動部活動推進事業**」（2億円）を新設し、全都道府県、12政令市において休日部活動の段階的な地域移行を実証研究。
- 具体的な地域移行の方策等を検討するため「**運動部活動の地域移行に関する検討会議**」を設置し、令和3年10月より議論開始。

### 【印象的なコメント】

- 少子化の影響もあり団体競技については活動が成り立たず大会に参加できなかつたり、指導者不足の問題もあり、学校単位でのスポーツ活動に限界がきている。
- このままでは学校での部活動は衰退が進み、子どもたちの経験・活動機会が失われていく。
- どの地域でも、子どもたちが地域でスポーツに関われる環境を創るためには、**未来永劫部活動が学校に残るとは考えていない。**
- 福岡市の現状にあった形でのフレーム創りを目指していきたい。

### 3.① メイキングストーリー

#### トライアル

## 学校施設を使い、アスリートOBも参加した指導トライアルを実施

#### ・トライアル実施校（サッカー）

実施校	実施日	参加者	指導者
田隈中学校	11月4日（木）	生徒12名 教員1名	アビスパ福岡 育成普及部コーチ（2名） アビスパ福岡選手OB
下山門中学校	11月25日（木）	生徒15名 教員1名	アビスパ福岡 育成普及部コーチ（2名） アビスパ福岡選手OB
東光中学校	12月23日（木）	生徒17名 教員1名	アビスパ福岡 育成普及部コーチ（2名） アビスパ福岡選手OB

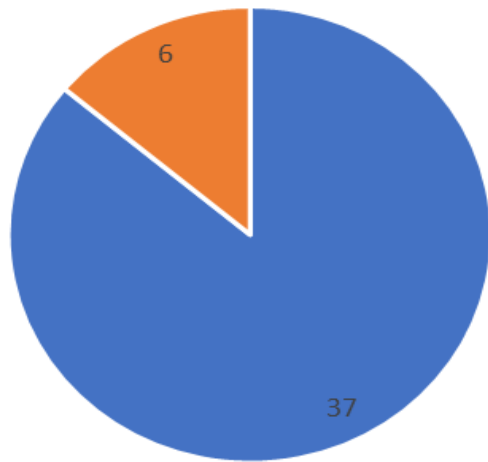
アビスパ福岡が福岡市から委託を受けて実施している『アビースクール』を活用して、アスリートOBも参加した指導を実施  
質の高い指導への満足度調査、アスリートOBの指導への関わり等をヒアリング



## ヒアリングの結果、学校外でも近くで活動できるならば、スポーツを継続したい生徒が多かった

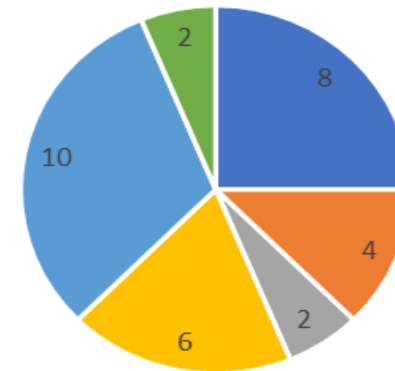
### ○トライアル実施時ヒアリング結果

学校部活動がなくなり学校外のクラブでスポーツをすることになった場合続けたいですか？



■ 1. 続けたい ■ 2. 続けない

学校部活動がなくなり学校外のクラブでスポーツを続けることになった場合希望の場所がありますか？



■ 1. 自分が通っている学校 ■ 2. 近くの小中学校  
 ■ 3. 市民体育館等の公共体育施設 ■ 4. 多少遠くても設備の整った施設  
 ■ 5. 近くならどこでもいい ■ 6. その他

学校部活動がなくなり学校外のクラブでスポーツをすることになった場合  
 続けたいとの回答が約8割、場所については自分の通っている学校含め近隣の会場希望が7割近くを占める  
 一方で設備の整った施設を求める意見もあった

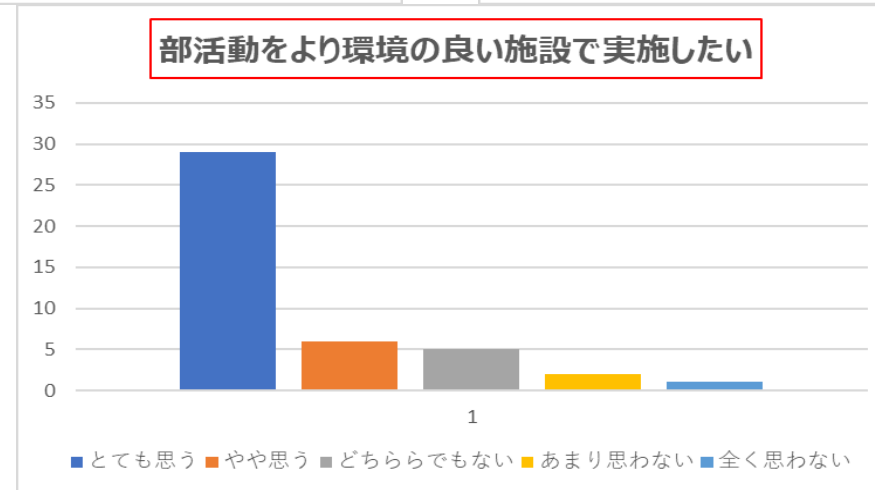
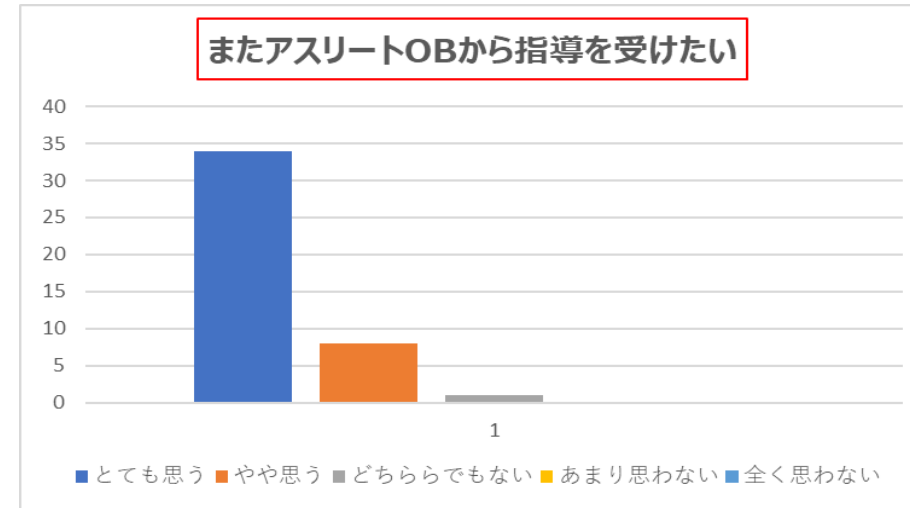
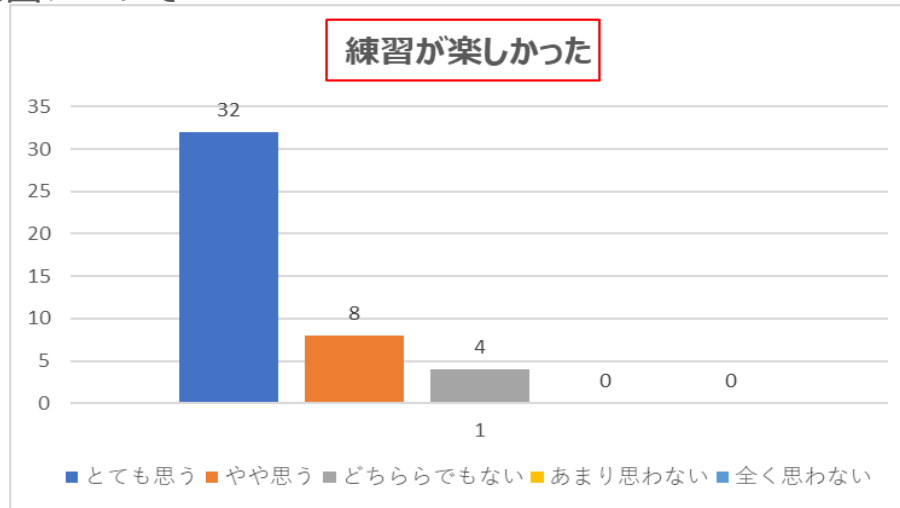
### 3.① メイキングストーリー

トライアル

## 元アスリートの指導に対する生徒からの指導力満足度は高い

○トライアル実施時ヒアリング結果

・練習について





### 3.① メイキングストーリー

#### トライアル

## 教員は働き方への問題意識はあるものの、部活動への想いもあり、変化を不安視

○トライアル実施時ヒアリング結果 教員からの声

	質問	回答
①	部活動の顧問になったきっかけについて	好きな競技だから 当該部活動の顧問がいなかったから
②	部活動が地域移行し、学校外のクラブで子ども達がスポーツをすることについて	賛成
③	部活動が地域移行し、学校外のクラブの外部コーチとして兼業・副業にて指導を続けたいですか？	可能な限り続けたい 部活動が好きで教員になったから
④	学校部活動に代わり、学校外のクラブが学校施設を活用して放課後活動することについて不安や懸念はありますか？	ある：学校の状況にどれだけ合わせてもらえるか ある：部活と学校生活が密接だから
⑤	学校部活動が地域移行した場合、学校外のクラブの活動場所はどこが望ましいと思いますか	近くの中学校 自分の通っている学校
⑥	学校部活動の指導者が教員ではなくアスリートOBなど外部者になることへ賛成ですか/反対ですか？	賛成
⑦	学校内で放課後、民間塾などの企業が事業を営むことに賛成ですか/反対ですか？	賛成：先生の数不足から
⑧	部活動をより環境の良い施設で実施したい	とても思う
⑨	部活動に部費が必要になると生徒・保護者は抵抗を示すと思いますか	やや思う あまり思わない
⑩	部活動は負担になっている	どちらでもない、あまり思わない 休みが少ない、帰宅時間が遅くなる
⑪	部活動の時間を別の時間に充てたい	全く思わない

指導を続けたい教員が  
地域移行後も継続できる  
仕組みづくりは必須

## 外部施設の活用可能性の検証

## ○外部会場候補地一覧

会場	
西区	今津運動公園
	小戸公園
中央区	平和台陸上競技場
	舞鶴公園 球技場
博多区	博多の森陸上競技場
	博多の森陸上競技場（補助）
東区	福岡フットボールセンター
	雁ノ巣レクリエーションセンター
城南区	西南杜の湖畔公園
早良区	百道中央公園

※平和台陸上競技場、舞鶴公園は隣接



### 3.① メイキングストーリー

リサーチ

## 福岡市教育委員会への調査

### 概要

- 年月日
  - 2021年11月
- 訪問先
  - 福岡市教育委員会
  - : 指導部
  - 中学校教育課
  - 総務部
  - 教育政策課
- 訪問者
  - 福岡PJメンバー
- 議論内容
  - 各種論点についてヒアリング

### 議論内容詳細

	アクション	反応
11/15	事務局による福岡市教育委員会への訪問 今回のFSにてこれから教育委員会に確認していきたい内容の共有 ●共有内容 ・本検証事業（部活動の地域移行）で目指す姿について	外部指導者の活用や地方創生交付金については当日ヒアリングができた。 ・指導費用は福岡市の独自予算。 （部活動指導員 A の報酬は国から1/3の補助あり） ・部活動支援員、部活動指導員ともに各学校現場からニーズが高い。 ・教員の負担軽減にメリットがあり、生徒・保護者からも評価が高い。 ・文部科学省が示す令和5年度からの部活動の段階的な地域移行については、国の明確な指針等が未だないために福岡市教育委員会としても十分に検討ができていない部分がある。
11/30	事務局による福岡市教育委員会への訪問 ・各種論点についてヒアリング	学校の施設利用について、下記有益なヒアリングが実現。 ・スポーツ活動を民間事業者が地域の子どもたち向けに行う活動は営利活動とみなさない取り扱いにしている。 ・運営主体が民間企業であってもスポーツ活動であれば指導料を徴収して活動ができる。 （運営に必要な経費の徴収は営利活動とみなさない） ・月謝の多寡で決めているわけではない。 ・利用優先順位 ①学校行事（部活動含む） ②地域利用 ③その他利用

### 3.① メイキングストーリー

リサーチ

## 学校教室の活用事例を発見。当事業へ転用できないかをヒアリングで検証

○学校施設を有効活用した事業事例について

	区	施設名
①	東区	かな保育園香椎浜小学校内分園
②	博多区	清水博多駅東保育園（清水保育園分園）
③	南区	いずみ保育園分園ほほえみ保育園 ※東花畑小学校内
④		寺塚コスモス保育園大池小学校内分園
⑤	早良区	ゆりか保育園大原小学校内分園
⑥		こぐま保育園有住小学校内分園
⑦		こぐま保育園賀茂小学校内分園
⑧	西区	観音寺保育園愛宕浜小学校内分園

### 経緯

福岡市では、待機児童ゼロを目指して、新築、増改築、学校分園、認可外保育施設の認可化や家庭的保育事業など多様な手法で保育所整備を進めてきた。

学校分園については、平成15年度から平成26年度までに、小学校8校で余裕教室を転用して定員200人分を整備した。



## 学校教室内で保育園事業を行っている小学校へのヒアリング結果

○学校施設を有効活用した事業事例について

事業	こぐま保育園 有住小学校内分園
事業者	社会福祉法人 良和会
住所	福岡市早良区有田7丁目17番1号
運営方法	<p>小学校等の余裕教室を活用した保育園を整備し運営を事業者に委託する公設民営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市の予算で改修し、保育園を営む法人に使用許可（委託）</li> <li>・小学校とは連携のために定期的にミーティング</li> <li>・校舎内では、小学校と保育園は完全に隔てられている</li> </ul>
定員	20名
対象	0歳児、1歳児、2歳児
保育料	4月分から8月分まではお子さんの父母の前年度市町村民税額を合算した額に応じて決定し、9月分から3月分まではお子さんの父母の当該年度市町村民税額を合算した額に応じて福岡市が決定。
一日の流れ	<p>7:00～ 順次登園            個別視診、所持品整理、着替え、おしごと（自主選択活動）、おやつ、朝の会、体操、設定保育（生活と遊び）、給排泄、手洗い、給食準備、給食歯磨き、着替え、昼寝、着替え、手洗い、おやつ、帰りの会、自由遊び</p> <p>18:00～ 順次降園</p>



### 3.① メイキングストーリー

リサーチ

## (参考) 全国にも範囲を広げてリサーチを行った結果、複数事例発見

○学校施設を有効活用した事業事例について（他地域）

	地域	名称	学校	タイプ	事業者
①	千葉県	市川市立行徳第二保育園分園	市川市立南新浜小学校	公設民営 (指定管理者に運営委託)	社会福祉法人 千葉寺福祉会
②	東京都	品川区立西品川保育園分園	品川区立三木小学校	公設公営	—
③	東京都	品川区立中延保育園分園	品川区立中延小学校	公設公営	—
④	東京都	砧南らる保育園	世田谷区立砧南中学校	公設民営	株式会社 日本デイケアセンター
⑤	神奈川県	SUNはるかぜ保育園	横浜市立野庭すずかけ小学校	公設民営	社会福祉法人 伸愛会
⑥	宮城県	松島町立行高城保育所分園	松島町立松島第二小学校	公設公営	—
⑦	大阪府	ほづみバブー保育園	豊中市立豊島小学校	公設民営	社会福祉法人 豊中ほづみ福祉会

## アビスパ福岡も有償のスクール事業を中学校を活用して実施しており、他校にも展開可能か

○学校施設を有効活用した事業事例について

事業	アビスパ福岡 サッカースクール城西校
事業者	アビスパ福岡株式会社
場所	城西中学校 第2グラウンド (福岡市城南区鳥飼5丁目21-1)
概要	活動日：毎週月曜日 クラス：幼児（年中・年長）16:00～16:50 ベーシック（1・2・3年生）17:00～18:10 ベーシック（4・5・6年生）18:20～19:30
使用までの経緯	スクール会場として利用していたフットサル場が閉鎖の為、近隣にてスクール会場となる対象場所を調査、関係者との調整により城西中学校第2グラウンドを利用できるようになる。 現在は西南フットボールクラブとの委託スクール会場として利用中。



## 飯塚市では、運動施設のみならず、学校教室の一部も開放していることが分かった

○学校施設の開放事例について（他地域）

	福岡県飯塚市
開放施設 [利用料/1時間]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館 [全面200円 半面100円]</li> <li>・運動場 [無料]</li> <li>・運動場照明施設 [60円]</li> <li>・武道場 [200円]</li> <li>・プール [830円]</li> <li>・家庭科室（調理実習室） [150円*]</li> <li>・コンピュータ教室 [420円*]</li> </ul> <p>*通常の教室とは別にコンピュータやガス器具等の使用に係る電気・ガス・水道料金を含んだ金額</p>
団体登録の条件	<p>「市内に住所を有する方または市内に通学もしくは通勤する方を含む5人以上で構成すること」          「代表責任者として20歳以上の方が含まれていること」          ※次の団体は、団体登録の必要はありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認定こども園、幼稚園、保育所(園)、児童館、児童センター</li> <li>・自治会（老人会、子供会、体育振興会等を含む）</li> <li>・行政機関（子供マナビ塾、熟年者マナビ塾、市が主催・後援・協賛するスポーツ大会を含む）</li> <li>・PTA</li> </ul>
使用申請の手続	団体登録後、使用したい学校で空き状況を確認し使用許可申請書を使用する学校に提出
利用料の免除対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童・生徒で構成（過半数以上）され、社会教育・スポーツ振興等を図ることを目的に組織された団体で指導者が無償で指導を行っている団体</li> <li>・認定こども園、幼稚園、保育所（園）、児童館、児童センター、自治会、行政機関、PTA</li> </ul>

・ 体育施設のみの開放を行っている自治体が多い一方で、飯塚市では家庭科室とコンピュータ室も開放  
 ⇒他地域でも交渉次第では開放可能か



## 他団体へのヒアリングでは、大方針が定まらない中、協力の意思決定ができないとの意見も

### ○各種競技団体との調整状況

団体名	競技	地域移行時の 受け皿意志	コメント
ライジングゼファー福岡	バスケット	○	受け皿となることへは前向き 福岡市全体の受け皿となるためには指導者を新たに確保する必要
福岡陸上競技協会	陸上	○ 条件付き	本格的に協力するためには指導者の選定等体制構築が必要 国の方針が定まらなければ、具体の検討には動けない
福岡県ソフトテニス連盟	軟式テニス	○ 条件付き	本格的に協力するためには指導者の選定等体制構築が必要 国の方針が定まらなければ、具体の検討には動けない
J STRUCT	硬式テニス	○	現在硬式テニス部は中学校に少なく、受け皿としての協力を不安感
RFCプロダクションズ	ダンス	△	指導者が現状でも不足しており、継続的指導者派遣に不安 国の方針が定まらなければ、具体の検討には動けない
一般社団法人 ONEACADEMY	チアリーディング	○	現在、チアリーディング部がある学校はなく、受け皿としての協力を不安感 (今後新種目として立ち上がることに期待)
福岡市スポーツ協会	各種競技	—	福岡市内の各競技団体への取次に協力姿勢

# 目次

1. 背景・目的
2. 検証概要
3. 検証結果の報告
  - ① メイキングストーリー
  - ② そこからの学び・示唆
4. 今後に向けて

## 検証ポイント

### ポイント

### 示唆/学び

① 収益の確保	会費収入	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者負担の適正額はアンケートで試算予定であったものの、保護者へのヒアリングが出来ず、今回は実施できなかった             <ul style="list-style-type: none"> <li>福岡市中学校部費（月額500円～1,500円 ※平均900円程度）であることはヒアリング済み</li> </ul> </li> </ul>
	事業収入	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校体育施設は、運営主体が民間企業であっても子どもたち対象のスポーツ活動であれば指導料を徴収して活動ができる             <ul style="list-style-type: none"> <li>運営に必要な経費の徴収は営利活動とみなさない</li> </ul> </li> <li>ただし、教室は機械警備や個人情報保護の観点で現状開放が困難なことから、十分に検討できていない状況</li> </ul>
	自治体からの支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>地方創生交付金については福岡市教育委員会からの申請は無く、教室開放が認められていない中での放課後サービス業の自走へのハードルが高いことを理由に本年はチャレンジできなかった</li> <li>福岡市では令和5年度からの段階的な運動部活動の地域移行にむけて令和4年度より検証を開始予定であるため、部活動事業においては自治体からの支援も期待したい</li> </ul>
② 効果的・効率的な運営	指導者の質・量の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域移行に当たっての指導者確保については教育委員会も懸念を持っている             <ul style="list-style-type: none"> <li>現状の指導者のみでは全競技、全域を賄えない見込み</li> </ul> </li> <li>在福競技団体等との連携が可能だが、継続的な人員確保には国からの大方針をもとに検討を希望</li> </ul>
	活動場所の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校/外部施設といった施設区分を問わず、近隣施設を希望する生徒が多数であった</li> <li>現状、外部施設は、一時的な利用は可能であるものの、継続的確保は難しく、収支面でのハードルも上がるため、積極的には活用できないとの結論に</li> </ul>

## 検証ポイント

### ポイント

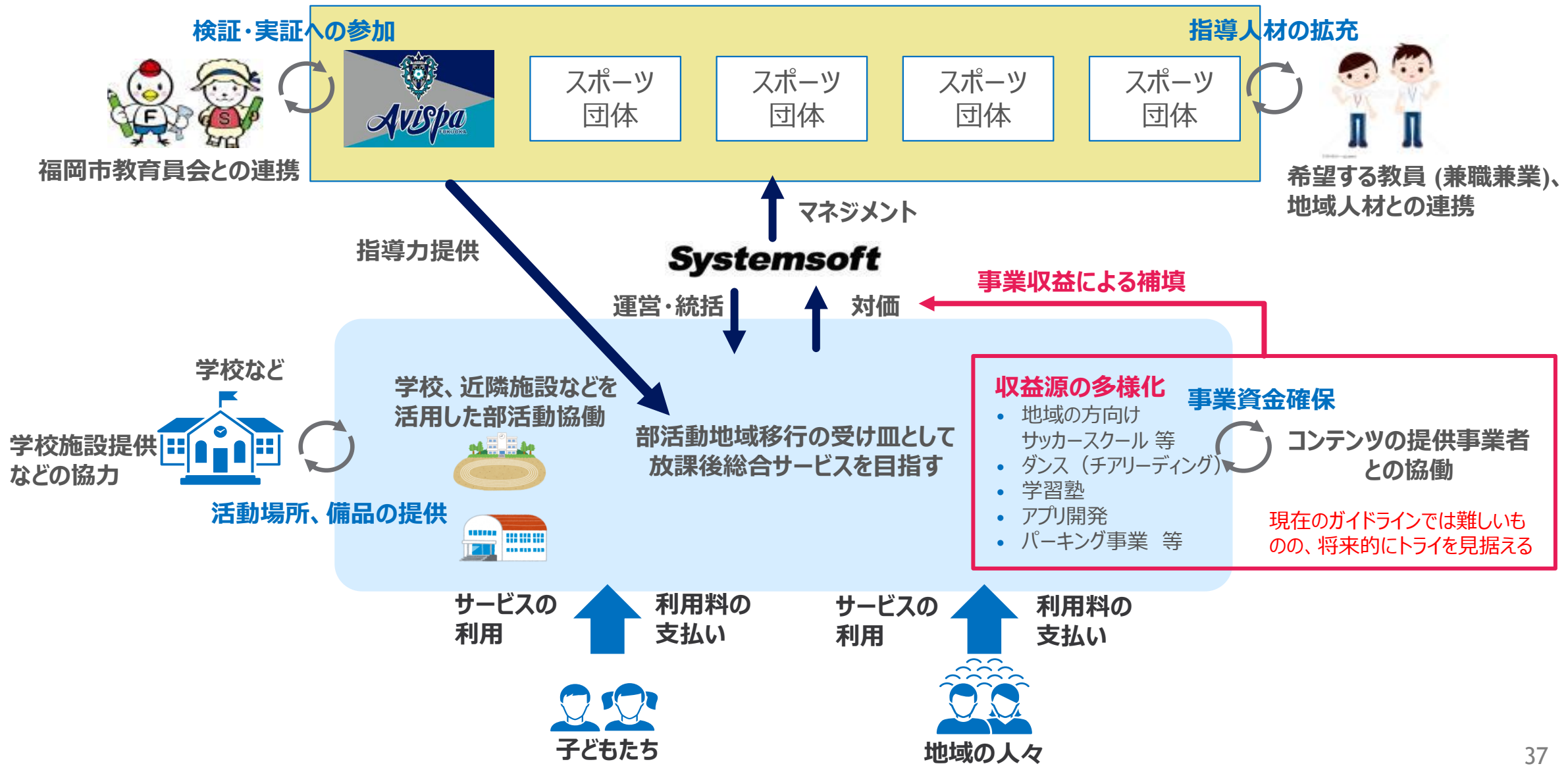
### 示唆/学び

<p>③ 学校部活動との 関係整理</p>	<p>教員の 兼業・副業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現状、職務の遂行に支障がないなど一定の条件を満たせば、事前申請することにより教員の兼職・兼業は認められている             <ul style="list-style-type: none"> <li>申請が煩雑であることなどから、報酬を受け取らずボランティアとして他の業務に従事する教員も多い</li> <li>教員からは部活動が負担になっているので外部指導者を活用したい、外部指導者を活用しながら自らも指導したいとの声もあり</li> </ul> </li> </ul>
<p>④ 放課後総合サービス検討</p>	<p>学校施設の 活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現状、運用上で営利目的での施設活用が認められているのは「子どもを対象としたスポーツ活動」に限定されているためスポーツ施設（校庭、体育館、武道場）のみ</li> <li>「子どもを対象としたスポーツ活動」に限定せず、「子どもの活動全般」は営利とみなさい運用に変えることで開放場所等の制限がなくなるとも考察される             <ul style="list-style-type: none"> <li>実際、小学校の一部を保育園として活用している事例もあり</li> <li>一部の市では教室も利用範囲に入っているところも</li> </ul> </li> <li>また、仮に教室を開放できたとしても、プライバシーの問題が生じる等の意見もあったが、私学や高校は既に塾等への教室の開放が行われており、私学・高校と公立中学校での差はどの点にあるのか要議論</li> <li>加えて、学校施設の利用事業者についても公平に検討すべきとの指摘があった             <ul style="list-style-type: none"> <li>他の自治体の事業と同様に、公募が適正と考えられるものの、それを全校で行うとなるとかなりの手間がかかるためその点も要検討</li> </ul> </li> <li>教室等学校施設利活用の可能性             <ul style="list-style-type: none"> <li>学校の空き教室等の利活用を行うことが、他の行政課題の解決に有効と行政側が判断すれば、他事業での利用可能性がある</li> <li>施設全体の収支を踏まえた「受益者負担の視点」に加え、施設の営業時間外における「有効活用の視点」、施設利用者以外の「適正利用の視点」、「公平性の視点」などを踏まえながら、公募を行う可能性もある</li> </ul> </li> </ul>

# 目次

1. 背景・目的
2. 検証概要
3. 検証結果の報告
  - ① メイキングストーリー
  - ② そこからの学び・示唆
4. 今後に向けて

# 今後の目指す姿



## 検証前の目指す姿と今後の目指す姿について

### 検証前の目指す姿

- 部活動地域移行の受け皿創出
  - 学校施設、外部施設を活用した部活動の地域移行
  - 在福競技団体と指導者派遣等を連携、協働
  - 段階的に福岡市全域での活動に展開
- 放課後総合サービス業の創出による収益源の多様化にむけた取り組み
  - 教室等を活用した学習塾、英会話教室の運営
  - 施設を活用した各種事業展開（パーキング、カフェ等）
  - 会費及び利用料を徴収できるサービスの提供
  - 自治体からの支援
  - 施設を有効活用して地域の活性化に向けた『道の駅』のような場所の創出

### 今後の目指す姿

- 部活動地域移行の受け皿創出
  - 在福競技団体と指導者派遣等を連携、協働
  - 自治体と連携した検証、実証
  - 部活動指導を希望する教員との協働
  - 地域の外部指導員との協働
- 放課後総合サービス業の創出による収益源の多様化にむけた取り組み
  - 学校施設においては現時点のガイドラインでは実現が難しいが将来的に収益源の多様化を目指す
  - 会費及び利用料を徴収できるサービスの提供
  - 自治体からの支援
  - 教室以外を活用した事業展開（パーキング事業等）

## 部活動のサッカー指導に対する対応イメージ ※福岡市全域の地域移行を想定した場合

福岡市立中学校69校  
うちサッカー部がある学校63校  
1部活動20人程度



126人の指導者が必要で  
現状のアビスパ福岡のみでは不足

20人当たりコーチ2人  
(社会人1人+学生1人)と仮定

確保可能 5名

アビスパ福岡指導者  
育成普及部コーチ  
5名  
(プロ志向のアカデミーへの指導があるためこれ以上の確保は現状難しい)

追加協力が必要 120人  
⇒追加雇用の体制構築が必要なので、大方針が出なければ動けない

アビスパ福岡での  
雇用による体制強化  
10名程度

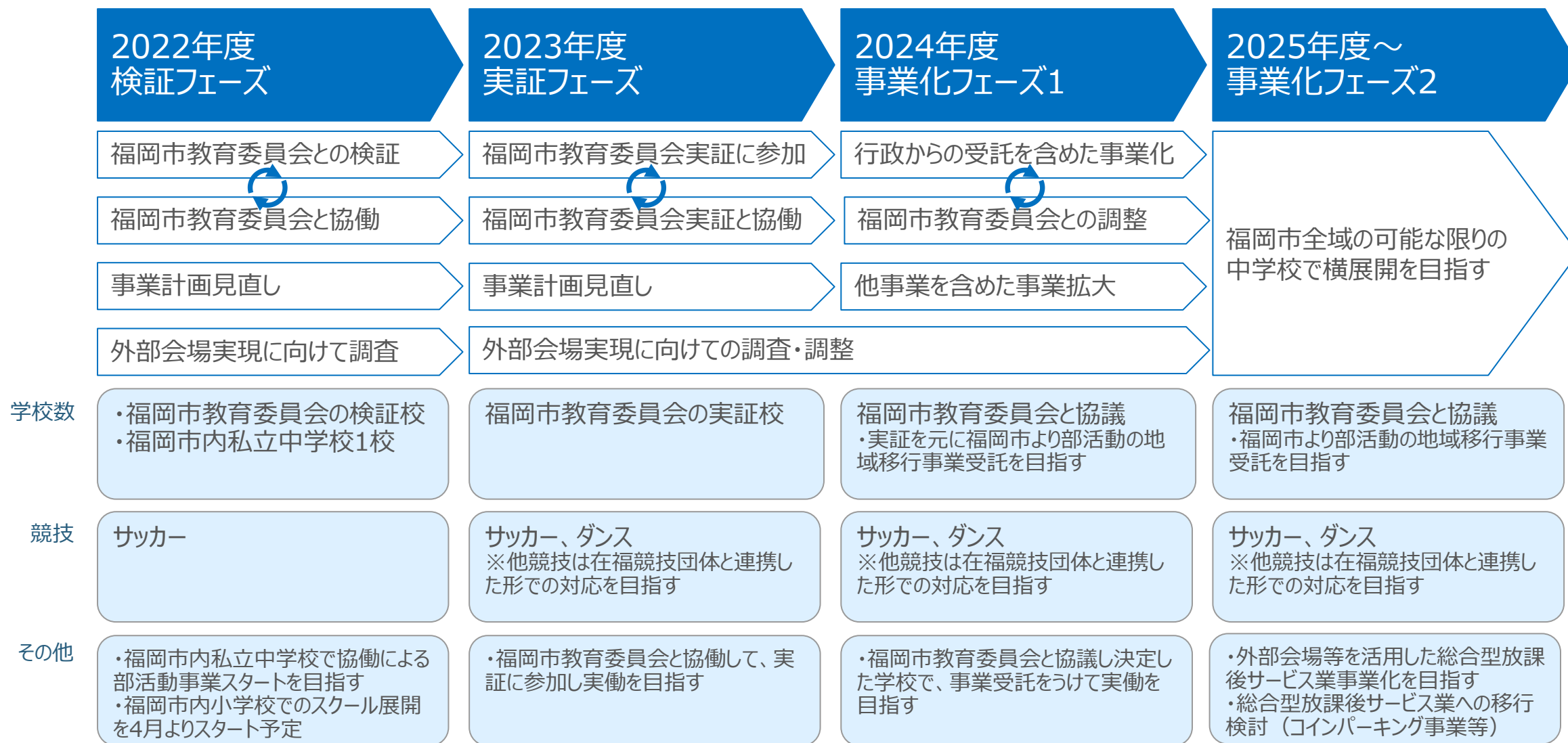
アスリートOB  
10名程度

他団体のサッカー  
指導者  
30名程度

アビスパからの育成  
指導を受けた学生  
※大学との連携  
70名程度



## 事業計画



## 今年度の宿題事項と次年度のアクション

### 当今年度の宿題事項

以下の点が課題として残った

- 受益者負担額の検証
  - 福岡市の部活における部費は月額900円～1,500円  
※平均900円程度
- サッカー以外の競技への対応
  - 在福競技団体への打診は行い指導者派遣には協力体制があるものの継続的な人員確保が課題
  - 部活動支援員、部活動指導員との調整
  - 部活動指導継続を望む教員との調整
- 外部会場候補地の調査
  - 検証を進めた結果、想定していた外部会場は費用面で断念
  - 他施設での可能性も検証したが、施設の空き状況、使用に対する制限、収支面で現実的ではなかった

### 次年度

- 福岡市内私立中学校での協働による部活動事業のスタートを目指し事例創出
  - サッカーを中心に指導者派遣をベースに将来的な地域移行を見据えて学校側と協議、協働
  - 受益者負担額の検証
- サッカー以外の競技への対応
  - 在福競技団体との連携、協働について継続的に調整
  - 部活動支援員、部活動指導員との調整
  - 部活動指導継続を望む教員との調整
- 外部会場候補地の調査
  - 総合サービスを実現できる外部会場を継続調査
- 自治体に取り組む検証への協働
  - 令和5年度からの段階的な運動部活動の地域移行にむけて自治体に取り組む検証への協働



## 事業収支計画

項目	金額（千円）				試算前提条件
	公立中学校活用版		外部施設活用版		
	部活のみ	部活＋事業	部活のみ	部活＋事業	
売上（部活事業）	2,400	2,400	2,400	2,400	【会費】4,000円/1名 50名想定（1クラス25名/週2回活動）
売上（派生事業*）	－	5,475	－	5,475	【駐車場】10台設置 1日平均15,000円想定
原価	1,701	2,421	2,234	2,954	【指導料】8,000円/1回 ※2名体制 【場所】学校:200円/時、外部施設750円/時 ※3時間利用 【照明】学校:600円/時、外部施設:3,000円/回 【駐車場】集金、保守料金
売上総利益	699	5,454	166	4,921	
販管費	960	3,799	960	3,799	【人件費】50,000円/1か月 【その他】30,000円/1か月 【駐車場】237,000円/1か月 ※設備設置費用減価償却費等
営業利益	△261	1,655	△794	1,122	

- 会費4,000円の根拠については調査が必要

\*派生事業はコインパーキングを想定